

弓道 いばらき

平成22年8月第32号

発行所 筑西市中根 361-2
茨城県弓道連盟
理事長 北島 瑞男
電話 (0296-52-3977)
<http://ibakyuren-k2.web.infoseek.co.jp/index.html>

平成三十二年度に期待する

茨城県弓道連盟 会長 柴田 猛

皆様のご協力をいただき平成21年度の行事も滞りなく終えることができました。ここに紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成21年度の県外大会を振り返ってみると、国体関東ブロックでは成年男子・少年男子が敗退する中、成年女子黒澤智子(三菱化学)、大高綾(桐弓会)、小島幸子(水戸市)・少年女子田山茂美(鉦田)、駒崎三裕貴(清真学園)、金子弓花(土浦二)2種別が本国体出場を果たした。新潟国体では、成年女子は惜しくも近の、遠的・少年女子近のともに予選通過ならず。遠的で少年女子が見事三位



柴田会長

に入賞する健闘をしたのは素晴らしい結果であった。関島勝強化部長を始めスタッフの先生方また少年男女監督の先生方の長期に亘る強化、指導に感謝と敬意を表したい。

佐久間和彰監督率いる清真学園が3月に大阪府で開催された全国高校選抜大会で見事準優勝に輝く素晴らしい成績を残されました。佐久間和彰監督の益々のご活躍を期待したい。関東高校弓道大会では、坂本貴紀(石岡商)が個人優勝。また関東高校個人選手権大会でも坂本貴紀が優勝した。関東大会での二種目制覇は見事であった。

一般は、5月の京都大会で塚田哲也(北総)が3位、関東選抜選手権大会では林田幸子が射技優秀賞に輝く活躍をした。

全日本選手権大会には関東ブロックを勝ち抜いた柴原一利子(水戸桜川)、石井和子(湊)、張替謙一教士(北総)が出場し、張替教士(北総)が予選を通過するも惜しくも入賞を逸した。

全日本教職員大会では矢野大輔(鹿島)、飯塚尚人(江戸崎総合)、後藤裕一(土浦工業)が団体優勝し、茨城の名を全国に知らしめる活躍は賞

賛したい。

上記の活躍は、本県の底辺の広さを知らしめたものであり会員各位の活躍の賜物と感謝しているところで

中央審査では、木村喜久雄(東海村)、柴原一利子(水戸桜川)、清水匡(土浦亀城)、林田幸子(土浦)が七段合格、六段9名、教士3名、錬士14名の延べ30名の先生方が昇段、昇格されました。心よりお祝いを申し上げますとともに、更なるご精進とご活躍を祈念いたしております。

平成22年度の主な行事は、世界大会が4月に2日間にわたり中央道場で開催されます。また、本県主管では6月に東日本女子大会が6月6日に開催されます。また、臨時中央審査(錬士・6段・7段)が9月25日、26日に開催されます。共に県武道館での開催となりますので皆様のご協力をお願いいたします。

今年度の努力目標といたしましては以下のように考えております。会員各位のご協力をお願いいたします。

- 1 高段者は弓道発展にご協力をお願いいたします。
- 2 競技会・講習会への参加をお願いいたします。
- 3 射法射技・体配の向上に努めるようお願いいたします。
- 4 弓道人の底辺拡大に努めるようお願いいたします。

5 弓道は自己を高める要素もあり

ます、各自心して稽古に励んでください。

弓道即生活と言われます。日常生活の中に弓道精神を生かしていきたいものです。

以上いろいろと述べましたが、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

平成22年度は昨年度以上の昇段・昇格者が出ること、大会での活躍を期待いたしております。「継続は力なり」です。大きな目標に向かって一歩一歩突き進んでください。

皆様方のますますのご発展を祈念いたします。



専門部だより

指導部

部長 助川 末廣

本年度も二期目の指導部長の任を仰せつかり、責任の重さを感じている次第です。微力ではありますが、部長一同講習会等の充実に努力する所存であります。

宜しくご協力の程お願い申し上げます。

本県においては、前年度連合審査五段に十八名、中央審査錬士十四名、教士三名、六段に九名、七段においては四名の弓友がそれぞれ昇段・昇格致しました。更なる精進と活躍をお祈りいたします。本年度は、射技はもちろんですが、軽視されがちな体配の充実に重点事項に講習会を実施したいと思います。

射技に於いては、私もそうなんですが指導された事を「やり切る」という事は本当に難しいものです。どうしても的にとらわれ、中りを心のどこかで意識して自分の何時もの射になってしまふものです。せめて講習会で学んだ事をやりきる心で受講してみてください。何か違った自分が見つかると思います。

思います。それを持ち帰りもう一度試してみる事が大切だと思います。柴田会長が常日頃おっしゃっている「やる気、素直、創意工夫」だと思います。

体配はとにかく何度も何度も繰り返し練習し体得する事が大切です。そのためにも講習会に参加して精進、学んでください。

また、連絡事項となりますが、本年度より教錬士会が無くなり錬士研修会、教士研修会としてそれぞれ県連主催となりました。講習会参加、受講料に於いても申し込み締め切り二十日前、受講料は指導部口座振込みとし当日受付は認めませんので宜しくご協力の程お願い申し上げます。

審査部

部長 山村 晋

平成21年度、県内審査も無事終了することが出来ました。審査員の先生方、審査部役員の方々のご協力のおかげと感謝しています。

また、11月8日(日)の関東錬士臨時中央審査(主管茨城県連)につきましましては、多くの会員の

方々の協力により無事中央審査が終わりました。ありがとうございました。紙面をお借りし、御礼申し上げます。

21年度県内審査を振り返ってみますと年々受審者が減少傾向にありましたが、中体連・高体連の指導者(顧問)の先生方の熱心な指導のおかげで昨年より190名も多い1,986名の受審者がありました。22年度も昨年以上の受審者を希望します。

21年度から中高生の交通の利便性を考慮し、年二回、東海・土浦・取手・県武道館の各道場を借用し審査を行いました。大変好評であり、このことも受審者が多くなった要因の一つかと思われます。

また中高生の審査、特に無指定受審者をスムーズに進行させるため、入場口、本座の位置等に白線の目印テープを貼る等、審査部では改善努力しているところです。

■審査部からのお願い

1 審査申込期限日は、審査実施

日前日(県外75日、県内20日)

厳守

2 弓道 級・段位審査申込書は必ず添付すること

競技部

部長 稲葉 健次郎

平成二十一年度に計画をした県連主催の競技大会は、昨年度よりさらに五十名増加の参加者により予定通り実施されました。各大会の開催にあたっては、二十年度からは全面的に各地区にて競技運営をしていただきましたが、各地区から選出された会員の方々の積極的なご活躍により全ての大会が円滑に終了することが出来ました。

紙面をお借りして改めて各位に御礼申し上げます。

二十一年度は二件の仕分け作業を行いました。一つは県民総合体育大会(兼)国民体育大会選手選考会で、参加者全員から徴収していた国民体育大会参加者傷害補償制度の負担金の全廃です。これは期待どおり補償対象の大会がブロック大会以降に改訂になったことと、強化部による国体選手選考過程の実態とも整合させるためですが、これにより参加者の負担が大幅に軽減されました。

二つめは青年団協議会の主催による青年大会開催の辞退です。参加規模の縮小に伴い弓道競技は全大会の種目が廃止となり予選会としての意義が消滅したこと、弓

道においては青年大会の参加資格者は県弓連主催による多くの大会に参加が可能であり、多様な世代と競い合うという青年大会開催の趣旨を十分にカバーしていると思慮したためです。

新設の「夏季練成大会」は五人一チームの団体戦として三十五チームにより四ツ矢一回の予選のあと上位八チームによる決勝トーナメントが実施されました。栄えある第一回目の優勝は牛久市、準優勝は土浦市、第三位は石岡桐弓会と下館となりました。

新年射会とは前年の六段以上の昇段者(十一名・錬士以上への昇格者(十五名)および喜寿以上の十一名の祝年者による祝賀演武が行われ、米寿をお元気で迎えられた會澤久、国谷保五郎、佐藤新二各先生の祝射も拝見することが出来ました。なお、本大会は六月に実施される全日本女子大会の運営リハースルとして競技役員はすべて六十数名の女子部員により競技運営がなされました。

今年度も、各大会に多くの弓友の参加を心から歓迎いたします。

強化部

前強化部長 関島 勝

平成二十二年三月末を以って強化部を退任することになりました。

強化部に席を於いて、まる六年が経過しました。その間強化部に関連する諸先生方には、ご指導ご鞭撻を賜り深く感謝を申し上げます。

平成二十年度より強化部長を任命され強化部の最高目標でもある、国体弓道種目成年の部等では結果が出せなかった事に対して、誠に申し訳なく深く反省する次第であります。選手たちの良き思い出、喜びと達成感を味わう機会を与えてあげる事が出来なかったことが心残りであります。強化部員一丸となって目標達成のため強化練習等を行ってきましたが、練習場の確保が思うようにできず、特に遠的練習等では武道館のみであり、雨天など、せめて安土側に屋根を設置されてはと思う時が度々であります。

成年選手においては、それぞれ生活のため仕事を持っております。したがって練習は土日が主であり、特に梅雨どきは選手たちの強化練習において大切な時期であり、強化部は常に天候を気にするところでもあります。

国体弓道競技成年の部は、国体関東ブロック予選、国体本大会で

は遠的競技からのスタートであり、上位に位置付けることが第一の条件であります。そのリズムを崩さず近的競技に臨む精神的な余裕が必要であると考えられます。

県体協の予算的な事もあるかと思いますが、国体で勝つ事条件として遠的場安土側の屋根設置の要望を今後も続けて頂きたい、切にお願い申し上げます。

最後に長年にわたりご指導を下さった諸先生および強化部員、強化候補選手の皆様には大変お世話になりましたことを心から御礼申し上げます。

強化部、選手候補の皆様の目的達成をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

平成22年度 選手強化部の目標

選手強化部部長 竹之内 正宏

昨年度は、試合結果から見ると、あと1本で本国体や決勝トーナメントに届かなかった年でした。「惜しかった、運がなかった」と考える見方と「実力が少し足りなかった」と考える見方に分かれますが、選手強化部としては、後者と考え、強化練習の計画、実行、分析、見直しのサイクルを短くすることで改善を行い、選手の強化を進めていきたいと考えます。

本年度の選手強化部の目標として、以下の3点を目指します。

第1の目標は、選手のレベルアップによって、実力が足りなかったのではなく、十分な余裕を持つて試合に臨めるような「勝負は時の運と胸を張って言えるような」あらゆる面で本当に強いチーム。

第2の目標は、常勝軍団と言われるような継続的な進歩が望める組織。

第3の目標は、厳しく、楽しく練習ができ、弓が上手になれる環境。

これらを達成するための現在の最重要課題は、選手のレベルアップと発掘です。

現在、強化練習に来て頂いている選手の方々が持っている実力を100%出せば、日本一も夢ではありません。しかし、100%実力を出し続けることはかなり難しく、3人の調子がそろわなければ、関東ブロック突破は出来ないのが、国体のレベルです。従って、個々の選手のレベルアップは必須となります。

ここで、国体を目指している方々へお願いとなりますが、常に(射形も、体配も、的中も)トップを目指して練習してください。この1本が試合を決めるといいう状

況を常に想定して引いてください。

次に、常勝軍団を支えるのは選手層です。少数精鋭には限界があります。よって、一緒に国体にチャレンジして頂ける弓友を大歓迎します。条件は特にありません。やる気があれば十分です。「まずは、お電話下さい。選手強化部(竹之内)または(加藤木)まで」最後の環境は、国体強化練習に参加される方々(選手と選手強化部)で作っていくものです。厳しく、楽しい練習をして、弓が上手になれるような強化部にしていきたいと考えますので、ご協力の程、よろしくお願いします。

会議報告

県外

関東地域弓道連盟連合会会議

(4/7、10/22 柴田)

全日本弓道連盟評議員会

(5/29、H22/3/8 久保田、北島)

全国地連会長会議

(10/30 柴田)

県内

専門部長会議 (H22/1/31)

理事会 (H22/2/28)

代議員会 (H22/3/13)

研修事業報告

県外

〔関東〕地区指導者講習会

(宇都宮 5/16~17)

山村 晋、宮崎康美、

吉田 智、小松正幸、

森 昭夫

〔関東〕女子講習会

(中央 6/13~14)

萩野谷綾子、中井川美枝子、

村上美保

〔関東〕地連幹部講習会

(中央 6/20~21)

市毛道子、萩沼信子、

木村喜久雄

〔男子・女子〕中央研修会

(中央 10/9~11)

張替謙一

関東教職員弓道指導者講習会

(茨城 H22/1/24~25)

25名参加

指導力向上指導者講習会

(中央 H22/2/6~7)

明間 勲

講師研修会

(中央 H21/3/5~7)

県内

講師・審査員講習会

(武道館 4/12 67名)

三・四段講習会

(土浦市 6/6 65名)

(武道館 11/7 47名)

五段講習会

(武道館 5/16 59名)

(武道館 9/5 49名)

称号者講習会

(土浦市 6/27 49名)

(武道館 H22/2/13 45名)

支部指導者講習会

(武道館 7/26 48名)

教職員指導者講習会

(武道館 8/29 27名)

スポーツ振興講習会

(武道館 9/26)

中体連審判講習会

(武道館 10/10 42名)

高体連審判講習会

(武道館 7/18 112名)

県外大会 一般

第60回全日本弓道大会

(京都 5/2/3)

・教士の部 3位 塚田哲也

第56回全日本勤労者弓道選手権大会

(千葉県 6/6/7)

第47回関東教職員弓道大会

(千葉 7/5)

第60回全日本選手権関東地域代表選手選考会

(上尾市 7/14)

・天皇杯 張替謙一、山村 晋、宮崎康美、小堀富男

・皇后杯 柴原一利子(進出)、林田幸子、萩野谷綾子、石井和子

第40回全日本教職員弓道選手権大会

(秋田 8/8/9)

・男子団体の部

優勝(矢野大輔、飯塚尚人、後藤裕一)

(千葉市 8/22/23)

第64回国民体育大会関東ブロック大会

(千葉市 8/22/23)

・成年女子の部

総合2位(国体出場権獲得)

第50回関東地域弓道選抜選手権大会

(横浜 9/13)

・称号者の部

射技優秀賞 林田幸子

第42回全日本女子弓道選手権大会

(皇后杯)

(中央 9/19/21)

第60回全日本男子弓道選手権大会

(天皇杯)

(中央 9/21/23)

・決勝進出 張替 謙一

第64回国民体育大会

(新潟県 9/26/29)

・成年女子の部

黒澤智子、大高綾、小島幸子

出場

第60回全日本弓道遠的選手権大会

(中央 10/23/25)

・男子の部 予選進出

川瀬 政人、大崎 真一

・女子の部 決勝進出

黒澤智子、小島幸子

全国ねりんピック弓道大会

(北海道 9/5/8)

庄司幸夫、小野田文雄、

林田幸子、福島勝之、川瀬政人

會澤 久、根本利江、唐沢叔莊

第10回全日本遠的弓道選手権大会

(中央 H21/1/9)

・成人男子の部 山田 康

・一般女子の部 小島幸子、五十嵐みどり、黒澤智子

全日本弓道連盟 創立60周年記念事業地域対抗祝射会

宮崎康美、柴原一利子、篠塚政嗣、山村 晋、張替謙一

(中央 10/18)

県外大会 高体連

第27回全国高等学校弓道選抜大会

(静岡 3/20/22)

・男子個人の部

9位 石上遼太(藤代)

第53回関東高等学校弓道大会

(山梨県 6/5/7)

・男子個人

第1位 坂本貴紀(石岡商)

・男子団体技能優秀 石岡商業

・男子個人技能優秀 坂本貴紀

第54回全国高校弓道大会

(奈良県 7/28/31)

第64回国民体育大会関東ブロック大会弓道競技

(千葉県 8/22/23)

・少年女子の部 総合

第1位(国体出場権獲得)

第28回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会

(東京都 9/12/13)

・男子の部

1位通過 坂本貴紀(石商)

第64回国民体育大会弓道競技

(新潟県 9/26/29)

・少年女子 遠的の部 第3位

第28回全国高等学校弓道選抜大会

(大阪府 H22/3/20/22)

県外大会 中体連

全日本少年武道(弓道)錬成大会

(日本武道館 7/20)

第20回関東中学生弓道大会

(中央 8/11)

・男子個人の部

4位 立原雅也(内原中)

・男子個人の部

5位 櫻井優樹(水戸二中)

第6回全国中学生弓道大会

(中央 8/22/23)

・女子個人の部

5位 袖山葉月(稲田中)

茨城県弓道連盟主催(主管県内大会)

春季大会

2009・4・19

▼団体

優勝 石岡桐弓会A

準優勝 下館C3位 藤代B

▼男子の部

優勝 大崎真一

準優勝 嶋田和希

3位 大貫 勇

▼女子の部

優勝 濱野悦子

準優勝 財津昌子

3位 太田和子

▼称号者

優勝 吉田 智

準優勝 張替謙一

3位 助川末廣

▼優秀賞(団体)

水戸桜川B(第1射場)

土浦市A(第2射場)

▼優秀賞(個人)

矢野大輔(第1射場)

菊地正光(第2射場)

選手権称号

2009・5・24

▼男子の部

優勝 小堀富男

準優勝 塚田哲也

3位 明間 勲

▼女子の部

優勝 石井和子

準優勝 林田幸子

3位 柴原一利子

▼最高得点

男子 張替謙一

女子 柴原一利子

選手権一般

2009・5・31

三段以下

優勝 藤枝秀平

準優勝 門井寿通

3位 橋本真樹

四・五段

優勝 笹沼健一

準優勝 藤崎岳人

3位 篠塚政嗣

最高得点

初段以下 矢口 学

二段の部 藤枝秀平

三段の部 橋本真樹

四段の部 関口孝久

五段の部 篠塚政嗣

県民総体

2009・6・7

男三段以下

優勝 平根伸彦

準優勝 井上雄貴

3位 久保田享

男四段以上

優勝 菊地俊和

準優勝 稲見真人

3位 大貫 勇

女三段以下

優勝 大高 綾

準優勝 仲村美香

3位 水野希美

女四段以上

優勝 山城芳美

準優勝 財津昌子

3位 小泉紀子

称号受有者

優勝 川瀬政人

準優勝 小室セイ子

3位 小沼勝則

2009・7・12

遠の大会

男四段以下

優勝 藤枝秀平

準優勝 井上雄貴

3位 海老原和典

男五段以上

優勝 大崎真一

準優勝 川瀬政人

3位 池田秀臣

女四段以下

優勝 大高 綾

準優勝 飯田純子

3位 矢口真弓

女五段以上

優勝 小島幸子

準優勝 黒澤智子

3位 石井和子

夏季練成

2009・8・23

5人立団体戦

優勝 牛久市B

準優勝 土浦市A

3位 石岡桐弓会、下館A

中野杯

2009・9・6

男子の部

優勝 古橋孝将

準優勝 宮内大和

3位 清水正己

女子の部

優勝 財津昌子

準優勝 立山たみ子

3位 中村和子

称号受有者

優勝 小沼勝則

準優勝 黒澤智子

3位 柴原一利子

段位別

2009・9・27

二段以下

優勝 藤枝秀平

準優勝 石川直人

3位 大森陽平

三段の部

優勝 山口 純

準優勝 仲村美香

3位 吉崎隆志

四段の部

優勝 大瀬良健蔵

準優勝 柴沼睦子

3位 門井寿通

五段の部

優勝 辻 尚宏

準優勝 矢野大輔

3位 小出則行

称号受有者

優勝 川瀬政人

準優勝 塚田哲也

3位 越川春江

フェスティバル

2009・11・15

男子の部

優勝 赤坂和也

準優勝 矢幡拓弥

3位 櫻井優樹

女子の部

優勝 白田友香

準優勝 谷萩古都美

3位 中畑 彩

支部対抗

2009・11・29

優勝 水戸桜川A

準優勝 石岡桐弓会

3位 湊A、土浦市B

新年射会

2010・1・31

三段以下の部

射詰優勝 仲村美香

男子

優勝 工藤寛志

準優勝 山野貴広

3位 豊崎光輝

女子

優勝 大高 綾

準優勝 稲見仁美

3位 川畑有紀子

四・五段の部

射詰優勝 大瀬良健蔵

男子

優勝 奥山郁夫

準優勝 新山晃一

3位 清水正己

・女子
優勝 斎藤ミユキ

準優勝 沖田紀子

3位 財津昌子

・称号受有者の部

射詰優勝 駒場孝司

・男子

優勝 清水 匡

準優勝 小島敏和

3位 関島 勝

・女子

優勝 中井川美枝子

準優勝 村上美保

3位 萩野谷綾子

茨城県教職員弓道連盟県内大会

春季大会

2009・5・30

男子の部

優勝 唐澤 章

準優勝 飯塚尚人

3位 松崎稔昌

女子の部

優勝 佐藤敬子

準優勝 大金喜代子

3位 大川都志子

総合の部

優勝 唐澤 章

秋季大会

2009・12・5

男子の部

優勝 堀江 栄

準優勝 高橋義之 3位 千葉一茂 ▼女子の部 優勝 佐藤敬子 準優勝 青柳とし子 3位 大金喜代子 ▼総合の部 優勝 堀江 栄	準優勝 廣瀬真衣 3位 岡野友美 3位 相原利恵 ▼県高校弓道秋季大会 2009・9・23 ▼男子団体 優勝 鹿島 準優勝 常総学 3位 八千代 ▼女子団体 優勝 土浦三 準優勝 水戸一 3位 小瀬 ▼男子個人 優勝 生井佑樹 準優勝 小林拓真 3位 大越寛之 ▼女子個人 優勝 駒崎三祐貴 準優勝 佐藤亜美 3位 深田ちひろ	準優勝 宮本浩匡 3位 寺門 諒 3位 井内義浩 ▼女子個人 優勝 鈴木沙季子 準優勝 駒崎三祐貴 3位 土屋瑛衣子 ▼男子個人 優勝 永井 (城ノ内) 準優勝 櫻井 (水戸二) 3位 清水川 (城ノ内) ▼女子個人 優勝 青木 (稲田) 準優勝 勝山 (稲田) 3位 池田 (清真) ▼男子個人 優勝 茨城中 準優勝 城ノ内中 3位 竹来中 ▼女子個人 優勝 阿見中 準優勝 水戸二中 3位 竹来中	準優勝 土浦一 3位 藤代 ▼男子個人 優勝 鈴木仲裁 準優勝 藤崎裕也 3位 森山裕太 ▼女子個人 優勝 大家 和 準優勝 廣瀬真衣 3位 水守さゆり ▼男子団体 優勝 石岡商B 準優勝 藤代B 3位 水海一 ▼女子団体 優勝 佐和B 準優勝 鉦田一 3位 土浦二B ▼男子個人 優勝 鈴木仲裁 準優勝 鈴木裕志 3位 坂本貴紀 ▼女子個人 優勝 田山成美 準優勝 青塚まゆみ 3位 喜古奈緒美	準優勝 土浦二 3位 土浦三 ▼男子団体 優勝 清真学 準優勝 土浦二A 3位 土浦二B ▼女子団体 優勝 鹿島A 準優勝 鹿島B 3位 佐和 つ工科 ▼男子個人 優勝 清真学 準優勝 土浦二A 3位 土浦二B ▼女子個人 優勝 鹿島A 準優勝 鹿島B 3位 佐和 つ工科	準優勝 東海中B 3位 土浦一B ▼女子団体 優勝 城ノ内中A 準優勝 稲田中B 3位 東海A ▼男子個人 優勝 永井 (城ノ内) 準優勝 櫻井 (水戸二) 3位 清水川 (城ノ内) ▼女子個人 優勝 青木 (稲田) 準優勝 勝山 (稲田) 3位 池田 (清真) ▼男子個人 優勝 茨城中 準優勝 城ノ内中 3位 竹来中 ▼女子個人 優勝 阿見中 準優勝 水戸二中 3位 竹来中	準優勝 高橋義之 3位 千葉一茂 ▼女子の部 優勝 佐藤敬子 準優勝 青柳とし子 3位 大金喜代子 ▼総合の部 優勝 堀江 栄	準優勝 廣瀬真衣 3位 岡野友美 3位 相原利恵 ▼県高校弓道秋季大会 2009・9・23 ▼男子団体 優勝 鹿島 準優勝 常総学 3位 八千代 ▼女子団体 優勝 土浦三 準優勝 水戸一 3位 小瀬 ▼男子個人 優勝 生井佑樹 準優勝 小林拓真 3位 大越寛之 ▼女子個人 優勝 駒崎三祐貴 準優勝 佐藤亜美 3位 深田ちひろ	準優勝 宮本浩匡 3位 寺門 諒 3位 井内義浩 ▼女子個人 優勝 鈴木沙季子 準優勝 駒崎三祐貴 3位 土屋瑛衣子 ▼男子個人 優勝 永井 (城ノ内) 準優勝 櫻井 (水戸二) 3位 清水川 (城ノ内) ▼女子個人 優勝 青木 (稲田) 準優勝 勝山 (稲田) 3位 池田 (清真) ▼男子個人 優勝 茨城中 準優勝 城ノ内中 3位 竹来中 ▼女子個人 優勝 阿見中 準優勝 水戸二中 3位 竹来中	準優勝 土浦一 3位 藤代 ▼男子個人 優勝 鈴木仲裁 準優勝 藤崎裕也 3位 森山裕太 ▼女子個人 優勝 大家 和 準優勝 廣瀬真衣 3位 水守さゆり ▼男子団体 優勝 石岡商B 準優勝 藤代B 3位 水海一 ▼女子団体 優勝 佐和B 準優勝 鉦田一 3位 土浦二B ▼男子個人 優勝 鈴木仲裁 準優勝 鈴木裕志 3位 坂本貴紀 ▼女子個人 優勝 田山成美 準優勝 青塚まゆみ 3位 喜古奈緒美	準優勝 土浦二 3位 土浦三 ▼男子団体 優勝 清真学 準優勝 土浦二A 3位 土浦二B ▼女子団体 優勝 鹿島A 準優勝 鹿島B 3位 佐和 つ工科 ▼男子個人 優勝 清真学 準優勝 土浦二A 3位 土浦二B ▼女子個人 優勝 鹿島A 準優勝 鹿島B 3位 佐和 つ工科	準優勝 高橋義之 3位 千葉一茂 ▼女子の部 優勝 佐藤敬子 準優勝 青柳とし子 3位 大金喜代子 ▼総合の部 優勝 堀江 栄	準優勝 廣瀬真衣 3位 岡野友美 3位 相原利恵 ▼県高校弓道秋季大会 2009・9・23 ▼男子団体 優勝 鹿島 準優勝 常総学 3位 八千代 ▼女子団体 優勝 土浦三 準優勝 水戸一 3位 小瀬 ▼男子個人 優勝 生井佑樹 準優勝 小林拓真 3位 大越寛之 ▼女子個人 優勝 駒崎三祐貴 準優勝 佐藤亜美 3位 深田ちひろ	準優勝 宮本浩匡 3位 寺門 諒 3位 井内義浩 ▼女子個人 優勝 鈴木沙季子 準優勝 駒崎三祐貴 3位 土屋瑛衣子 ▼男子個人 優勝 永井 (城ノ内) 準優勝 櫻井 (水戸二) 3位 清水川 (城ノ内) ▼女子個人 優勝 青木 (稲田) 準優勝 勝山 (稲田) 3位 池田 (清真) ▼男子個人 優勝 茨城中 準優勝 城ノ内中 3位 竹来中 ▼女子個人 優勝 阿見中 準優勝 水戸二中 3位 竹来中	準優勝 土浦一 3位 藤代 ▼男子個人 優勝 鈴木仲裁 準優勝 藤崎裕也 3位 森山裕太 ▼女子個人 優勝 大家 和 準優勝 廣瀬真衣 3位 水守さゆり ▼男子団体 優勝 石岡商B 準優勝 藤代B 3位 水海一 ▼女子団体 優勝 佐和B 準優勝 鉦田一 3位 土浦二B ▼男子個人 優勝 鈴木仲裁 準優勝 鈴木裕志 3位 坂本貴紀 ▼女子個人 優勝 田山成美 準優勝 青塚まゆみ 3位 喜古奈緒美	準優勝 土浦二 3位 土浦三 ▼男子団体 優勝 清真学 準優勝 土浦二A 3位 土浦二B ▼女子団体 優勝 鹿島A 準優勝 鹿島B 3位 佐和 つ工科 ▼男子個人 優勝 清真学 準優勝 土浦二A 3位 土浦二B ▼女子個人 優勝 鹿島A 準優勝 鹿島B 3位 佐和 つ工科	準優勝 高橋義之 3位 千葉一茂 ▼女子の部 優勝 佐藤敬子 準優勝 青柳とし子 3位 大金喜代子 ▼総合の部 優勝 堀江 栄	準優勝 廣瀬真衣 3位 岡野友美 3位 相原利恵 ▼県高校弓道秋季大会 2009・9・23 ▼男子団体 優勝 鹿島 準優勝 常総学 3位 八千代 ▼女子団体 優勝 土浦三 準優勝 水戸一 3位 小瀬 ▼男子個人 優勝 生井佑樹 準優勝 小林拓真 3位 大越寛之 ▼女子個人 優勝 駒崎三祐貴
---	--	---	--	--	---	---	--	---	--	--	---	--	---	--	--	---	--

平成21年度 中央(臨時)審査会 合格者

取得	氏 名	所 属	取得日	審査場所		区分計
教士	小堀 富男	鹿嶋				5名
	鳥居 士郎	取手	21.7.3	仙台定期中央審査	仙台	
	萩野谷綾子	水戸	21.12.20	東京特別	東京	
	濱野 昇	東海	22.2.21	教士号取得特別講習会	東京	
錬士	須田 勝	石岡				14名
	岡田耕一郎	藤代	21.2.15	東京 推薦	東京	
	高橋 啓市	守谷				
	黒澤 智子	神栖	21.3.14	四国地区臨時中央審査（香川）	高松	
	大崎 真一	潮来	21.5.6	近畿地区錬士臨時中央審査（京都）	京都	
	高松 清	笠間	21.7.5	東北地区錬士臨時中央審査（仙台）	仙台	
	小出 則行	水戸桜川	21.10.3	関東地区臨時中央審査（東京）	東京	
	新井 重夫	取手				
	坂本 允	牛久				
	齊藤 孝司	土浦				
	木村亜紀子	北総	21.11.8	関東地区臨時中央審査（東京）	東京	
	塩屋 陽一	取手				
	濱野 悦子	下館				
	立山たみ子	友部				
寺西 敏夫	日立化成					
七段	木村喜久雄	東海村	21.5.1	東京 推薦	東京	4名
	柴原一利子	水戸桜川	21.7.4	仙台定期中央審査	仙台	
	清水 匡	土浦亀城	21.11.2	東京定期中央審査	東京	
	林田 幸子	土浦				
六段	中井川美枝子	勝田	21.5.5	京都定期中央審査	京都	9名
	小武内弘子	神栖	21.7.4	仙台定期中央審査	仙台	
	後藤 裕一	土浦亀城				
	山崎 芳美	取手				
	竹之内正宏	日製日立	21.10.4	関東地区臨時中央審査	東京	
	大金喜代子	水戸桜川				
	中山 瑞穂	水戸桜川	21.10.31	東京定期中央審査	東京	
	小沼 勝則	波崎				
今村 好男	鳴和					
合 計						32名

平成21年度 連合審査会 合格者

取 得	氏 名	所 属	取得日	審査場所		昇段者数
五段	矢野 大輔	藤代	21.5.10	神奈川県関東地域連合審査	神奈川	2名
	小幡 貴司	土浦	21.5.10			
	黒杭 正吉	神栖	21.5.31	東京関東地域連合審査	東京	1名
	渋谷 輝男	牛久	21.7.26	千葉県関東連合審査	千葉	2名
	関口 孝久	龍ヶ崎	21.7.26			
	船越 忠	神栖	21.8.9	関東連合審査(東京)	東京	1名
	篠原 季次	取手	21.9.21	宇都宮関東連合審査	宇都宮	4名
	和泉 武	取手	21.9.21			
	大貫 敏宏	勝田	21.9.21			
	藤崎 岳人	日製日立	21.9.21			
	石田 昌嗣	神栖	21.10.11	関東連合審査(水戸)	水戸	7名
	瀬端 裕子	下館	21.10.11			
	廣瀬 仁美	土浦亀城	21.10.11			
	鈴木恵美子	水戸	21.10.11			
	新井 昭子	取手	21.10.11			
	山口 裕利	日立中央	21.10.11			
	唐澤 章	新利根	21.10.11			
	野田 君江	土浦亀城	21.11.23	関東連合審査(東京)	東京	1名
合 計						18名

平成21年度 審査合格表

		無指定	2級	1級	初段	弐段	参段	四段	五段	計
5月3日 一般	受審者	11			1	17	25	26		80
	合 格	3 級			1	17	7	8		44
		2 級								
		1 級								
	%	初段 11			100	100	28	30.8		55
5月17日 中高 東海・土浦 取手	受審者	147	59	169	75	176	25			651
	合 格	3 級 29	59	169	75	154	3			607
		2 級 92								
		1 級 22								
	%	初段 4	100	100	100	87.5	12			93.2
6月21日 一般	受審者	16				11	29	22		78
	合 格	3 級				10	11	12		49
		2 級 1								
		1 級								
	%	初段 15				90.9	37.9	54.5		62.8
7月5日 中高	受審者	63	25	52	17	28	11			196
	合 格	3 級 39	25	52	17	20	2			179
		2 級 22								
		1 級 2								
	%	初段	100	100	100	71.4	18.2			91.3
10月11日 連合	受審者								99	99
	合 格	3 級							8	8
		2 級								
		1 級								
	%	初段							8.1	8.1
11月22日 中高	受審者	245	13	67	91	29	8			453
	合 格	3 級 33	10	67	91	25	3			444
		2 級 199								
		1 級 13								
	%	初段	100	100	100	86.2	37.5			98
12月6日 一般 県武道館 土浦	受審者	22		1	1	23	34	24		105
	合 格	3 級		1	1	22	10	2		58
		2 級								
		1 級 3								
	%	初段 19		100	100	95.7	29.4	8.3		55.2
12月13日 中高	受審者	136	15	57	74	33	9			324
	合 格	3 級 29	15	57	74	24	3			309
		2 級 78								
		1 級 29								
	%	初段	100	100	100	72.7	33.3			95.4
合 計	受審者	640	112	346	259	317	141	72	99	1,986
	合 格	3 級 130	112	346	259	272	39	22	8	1,698
		2 級 392								
		1 級 69								
	%	初段 49			100	85.8	27.7	30.6	8.1	85.5

弓道 いばらき

平成22年8月第31号

発行所 筑西市中根 361-2
茨城県弓道連盟
理事長 北島 瑞男
電話 (0296-52-3977)
<http://ibakyuren-k2.web.infoseek.co.jp/index.html>

平成二十年度を振り返って

茨城県弓道連盟 会長 柴田 猛

皆様のご協力をいただき平成20年度の行事を滞りなく終えることができました。ここに紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成20年度の県外大会を振り返ってみると、国体関東ブロックで成年男女が敗退する中、少年男女の2種別が本国体出場を果たした。大分国体では、少年男子阿倍大氣(土旦)鈴木伸哉・井上雄貴(石商)が近似的1位・遠的5位、少年女子渡邊聡美(江崎総)大屋和(竜二)野口恵璃子(精真)が近似的2位に入賞し28年ぶりに国体総合優勝に輝く偉業を達成した。少年男子斉藤千代子監督・少年女子

佐久間和彰監督の長期に亘る強化、指導に敬意を表したい。

石岡商業高校男子がインターハイ12年ぶりの優勝、関東大会も制覇と素晴らしい成績を残し大活躍であった。一般は、5月の京都大会で高野敬光錬士(玉造)が5位に入賞、全日本選手権大会には関東ブロックを勝ち抜いた張替謙一教士(北総)、萩野谷綾子(水戸)に柴原一利子(水桜川)が出場した。本大会では、張替教士(北総)が健闘し4位入賞は称賛される。また、全国弓道遠的大会(新成人記念大会)では、小島幸子(水戸)が4位入賞を果たす活躍



柴田会長 射影

をした。(関東大会は優勝のみ記載)今年度は現在、全日本弓道連盟優秀地連表彰規定(京都大会 12点・勤労者・高校総体 24点・近似的選手権 15点)・遠的選手権・国体 57点・高校選抜を得点化)による全国ランクは108点となり6点差の2位が決定した。念願の優秀地連表彰(3位以内)が受けられる状況にあります。このことは、本県の底辺の広さを知らしめたものであり会員各位の活躍の賜物と感謝しているところです。

中央審査では張替謙一教士(北総)が八段1次合格、中井川一郎教士(勝田)・萩沼信子(殿山)が七段合格、六段8名、教士1名、錬士16名の延べ28名の先生方が昇段、昇格されました。心よりお祝いを申し上げますとともに、更なるご精進とご活躍を祈念いたしております。

平成21年度の主な行事は全日本弓道連盟60周年記念式典が10月17日(土)18日(日)の2日間にわたり中央道場で開催されます。また、本県主管で臨時中央審査(錬士)が中央道場で開催されます。県武道館が手狭なためやむを得ず東京まで出向いていただくこととなりますので皆様のご協力をお願いいたします。

県内審査規定の一部改訂がありました。審査料および登録料のうち県内登録料を新しく設けましたのでご協力をお願いいたします。

今年度の努力目標といたしましては以下のように考えております。会員各位のご協力をお願いいたします。

- 1 高段者は弓道発展にご協力をお願いいたします。
- 2 競技会・講習会への参加をお願いいたします。
- 3 射法射技・体配の向上に努めるようお願いいたします。
- 4 弓道人の底辺拡大に努めるようお願いいたします。

以上いろいろと述べましたが、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

平成21年度は昨年度以上の昇段・昇格者が出ることと、大会での活躍を期待いたしております。「継続は力なり」です。大きな目標に向かって一歩一歩突き進んでください。皆様方のますますのご発展を祈念いたします。



特集

「第63回国民体育大会」

弓道競技 総合優勝

平成20年9月27日から10月7日まで開催された、おおいた国体で、茨城県は、少年男子の部近的優勝、遠的5位、少年女子の部近的準優勝という、すばらしい成績をおさめ、28年振りの男女総合優勝という大成果を挙げました。

第63回おおいた国体を

振り返って

少年男子 監督 斎藤 千代子



この度、茨城県といたしまして28年振りの国体総合優勝という快挙を成し遂げることができました。これも一重に茨城県弓道連盟並びに高体連そして体育協会等、関係各位の皆様にご支援いただきましたおかげです。心より感謝申し上げます。

今回、茨城県弓道連盟会長の柴田猛先生を体育協会より帯同コー

チとして派遣していただきました。選手にとりましては何より心強かったそうです。『柴田会長がついてくださるので負ける気がしない』と申して、全体の士気が高まりました。

そして、少年女子の佐久間和彰監督と選手との信頼感が実を結び近的2位の活躍で総合優勝に大きく貢献しました。

どの出場選手も実力伯仲の中で、茨城県の選手は持てる力を十分に発揮してくれました。

■選手の感想を一言

(大前) 阿部 大氣

(土浦日高・3年)

国体までの3ヶ月間で弓も生活面でもたくさんのお話を教えていただきました。これから弓道を続けていく上でも、これからの私の人生にも最高の宝物です。

(中) 鈴木 伸哉

(石岡商業高校・2年)

3人揃ってほぼ毎日練習できたことでチームが一丸となれて、緊張の連続をみんなで乗り越えることができました。ここまで応援してくださった皆様への感謝の気持ちを忘れずに、これからも練習に

励みます。

(落ち) 井上 雄貴

(石岡商業高校・3年)

優勝できたのは、何よりも、柴田先生がいつも傍に居てくださったおかげです。不安になる前に直していただけた。そして、チームワークが良かったから土壇場でも焦らず安心して自分の弓が引けました。

柴田猛会長を先頭に、茨城県弓道連盟・高体連を上げての応援の結果が総合優勝につながったのだと思います。

私としても、汗と涙と感動の輪の中に身を置かせていただけたことに感謝いたしております。ありがとうございました。

少年女子 監督 佐久間 和彰

(清真学園)

今回、少年女子監督としておいた国民体に参加させていただきました。少年女子監督は三度目です。今回はこれまでの反省を踏まえて、精神面の強化も考慮して練習計画をたてました。まず気をつけたのは、選手各自に目標を明確に意識させることです。そして諦めない心の涵養です。今年の少年男子三人が素晴らしいチームであ

り、合同練習を行うこともありましたが、練習中、女子選手は男子三人に遠く及ばないことに挫折感を味わうこともあったようです。それでも諦めないように指導いたしました。また、成年の選手と一緒に練習することで、雰囲気呑みこまれない練習も行いました。

結果的にはレベルの高い選手と練習することで、意識や射術の向上が図れたと思います。

コーチとして参加していただきました。江戸崎総合高校の松本先生のご指導も、大きな力でした。松本先生にはほとんどの強化練習に参加していただき、記録や矢取りなど多方面でのご指導いただきました。

さて、選手についてですが、今回の女子メンバーは大前が渡邊(江戸崎総合三年)、二的に大屋(竜ヶ崎二年)、大後が野口(清真学園二年)です。選手たちの課題は遠的でした。山梨の関東ブロックでは総合でこそ三位でしたが、内容は近的が二位で遠的が五位です。正直なところ、本国体での遠的の成績が懸念されました。大分に入るまでに遠的を強化することが緊急の課題と考えました。遠く、集合しての強化練習は苦勞するところでありました。場所も

県武道館を中心に練習しましたが、遠的の練習場所がもつとたくさんあればと痛切に感じました。

本番では、残念ながら遠的こそ結果を出せませんでした。近的は素晴らしい成績をあげました。予選は埼玉県と大阪府に並び一位通過、決勝トーナメント一回戦では大阪府を一本差でかわし、準決勝も高知県を二〇対九で勝ちあげました。決勝は、的中率五割を切らぬことを個人の最低目標とし、七中以下は出さない事をチーム目標として和歌山県と対戦しました。結果は一一対九で敗れました。

選手たちは本当によく頑張りました。最後まで諦めず、勝負しました。最後に敗れはしたものの準優勝です。しかしそれ以上に、選手たちの頑張りこそが感動的でした。



た。今はただ「よく頑張った」と素直に褒めてあげたいと思っています。

最後になりましたが、国体に関係された皆様にお礼を申し上げます。県連会長柴田先生をはじめ、関島先生、竹ノ内先生、成年の選手の皆様方から大きな力とたくさんの声援をいただきました。私も選手も大分国体まで頑張ることができましたのは、こうした応援があつてのことと思っております。本当にありがとうございました。

優勝祝賀会

総合優勝を祝して、平成20年12月14日に祝賀会を開催いたしました。



第63回 国体弓道競技総合優勝祝賀会

国体男女総合優勝祝賀会開催

第63回国民体育大会は、大分県で開催されました。本県を代表して出場した選手団は、少年男子の部で、近隣の部優勝・遠隣の部5位、少年女子の部で、近隣の部準優勝という、すばらしい成績を収め、この結果実に28年振りの男女総合優勝という大成果を挙げました。

この、成果を祝し茨城県弓道連盟として、平成20年12月14日(日)に、水戸京成ホテルにて祝賀会を開催いたしました。

来賓として、角田芳夫 副知事・体育協会長をはじめ体協関係者4人、県連からは59名の会員及び選手・監督8名と選手の保護者7名の参加をいただき、盛大に開催されました。

柴田会長の挨拶の後、角田副知事、関顧問から心温まるご祝辞をいただき、選手紹介・記念品贈呈のあと、選手代表 井上雄貴(石岡商業)君から挨拶があり、祝宴と移りました。

井上君の挨拶は、大成果を自分たちの努力で勝ち取ったということではなく、監督・指導者、応援を頂いた方々のお陰という気持ちを全面に出した、慎ましさをもったすばらしいものでした。

日ごろの指導が、弓道の技術面だけでなく、人間形成にも成果を感じさせてくれました。

祝宴進行中に、監督・選手一人の挨拶もあり、2時間の予定時間は本当に短く過ぎてしまいました。

選手・監督の方々の今後のご活躍を祈念いたします。

教錬士会の歩み

教錬士会長 明間 勲



教錬士会の歴史は古く、故中野慶吉先生、故矢吹三郎先生、故大村嘉雄先生の後任が天冨子先生4

期8年と諸先輩から引きつがれ継続されたが、講習会等々思うような会員の集まりがなく大変ご苦労なされたようでした。平成15年度から明間が引継ぎ、会員の皆様のご協力を頂きながら3期6年務めることができましたのも、講師の先生に恵まれ、又役員の方々、各地区の理事の方々、会員のご協力のおかげです。大変お世話になり、暑くお礼を申し上げます。年1回の外部講師派遣の日程を秋から冬に変更しました。秋のシーズンは講師の先生がお忙しく、講師選びに苦労しましたが、日程変更後は講師先生のご協力もあり毎年70数名の参加があり大変喜んでい

るところです。今年4回述べ人数が200名の先生方がお稽古をなされたこととなります。平成15年度理事会報告では、称号者数123名でしたが20年度資料では147名で称号者だけ見ても24名昇格されました。特に昨年、今年と素晴らしい成果を挙げられた各先生方おめでとうございます。

皆様の努力が素晴らしいことと思います、更なるご精進とご活躍をお祈りいたします。過去6年間を振り返ると熱心に

毎回ご参加いただき精進されている先生方が多いのですが、いまだに年数回の県内教錬士会に参加されない先生がおられることが残念です。錬士教士昇段昇格されてこられたのも一人の力ではないわけで、県内の仲間とお互いに切磋琢磨して茨城県の弓道発展に精進したいものです。

三十周年を迎えた女子部

天 冨子



二〇〇八年九月に女子部発足以来三十周年となり、さ

やかながらお祝い会を行いました。振り返ってみると、茨城国体を迎えようとした時、一般女子の選手になる人がなく、大変な思いをされた経験で、中野先生が「女子の弓引く人を育てることに」と、私に言われ女子部を作ることになりました。一九七六年四月に、当時県立水戸商業高校弓道部を入れても、約二十名足らず。当日は、中野先生の計らいで式典を開催しました。二年後に、女子部の活動開始となり、昭和五十四年の四月で、田原トシ先生を部長と

し、事務すべてを私が始めました。一般人を集めてみると、長いご挨拶、家庭のこと、子供の話など、私語が多く技術に入るまでが大変でした。

そこで、第一の目的も、第二の目的も技術の向上を図ること。もうひとつ、弓道人としての人間を学ぶことに徹底しました。平成二年に田原トシ先生が引退なさったので、役員を増やし、部長一名、副会長一名、書記二名、会計二名、庶務二名、監査二名としました。

行事も、講習会は全体年二回、四段以下一回、五段以上一回、大会は九月に一回、新春大会二月に一回と決め、参加人数も年ごとに増加してきました。三十年の前半は人のために行っているように見えましたが、後半は「自分たちの会」と認識して、役員はじめ参加した者が矢取りや看的などを自分たちで行うようになり、見違えるほどになりました。総人員も約百四十余名となり、この二月の新春大会も、九十名の申し込みを受けうれしい悲鳴を上げています。

そのほかに、毎年審査を通過するものも多くなってきました。これも偏に先生方や男子の方々が女子部に協力してくださったお陰で、ありがたいことと感謝いたしております。

また、役員の一人一人が仕事の内容を理解し、進んで奉仕してくれています。一般の参加者にも仕事をしていただき、頼もしいと思うようになりました。「ここまでよく育った」と一人感傷的になり、「アンナコトも」「コンナコトも」書き尽くせないことが胸に込めます。皆で仲良くスクラムを組んでいけば女子部は磐石です。これからも初めの目的を忘れず、向上していくでしょう。

五段会

大賀 富士男

平成二十一年二月十一日 五段会の二十一年度が始まりました。毎年二月十一日の総会、中野杯争奪競技会で幕開けとなります。今年の射詰めは、中村恵子さん（土浦市）、中野杯は、沖田紀子さん（牛久市）に輝きました。その後、柴田範士の講習会も参加者五十二名、気持ちも新たに受講することになりました。

今年度は、六月東海村、八月存心館、九月土浦市、十一月取手市での講習会を主に、会員の射技・体配の向上に努めていきたいと考えております。現在会員は約六十名、五段取得者で構成されています。

ます（五段候補生として四段も在席）。入会希望者は会員に相談してください。昨年度、久本宣子、田口敏朗、中村恵子、越川春江、来栖茂の五名が錬士に昇格されました。更なるご精進とご活躍を祈念いたします。

会は、昭和四十七年、中野先生の「やる気のあるものだけを集めて俺のところに来なさい。月一回でも良い」と言われ、そこからスタートし、修練中は現有段位は白紙とし、同格扱いで研鑽したそうです。

県連の皆様、また会員の皆様のご協力を得て、これからも地道に少しずつ技量の向上に努めたいと考えていますので、よろしくご指導ご鞭撻をお願いいたします。

明正会の活動

会長 堀江 栄

中野慶吉範士、関宗長範士の指導で、昭和五十五年に誕生した明正会は、今年で三十年の齢を迎えました。射会の回数も百六十以上になりました。

研修活動は、水戸、大子、土浦、東海、石岡、友部の順で年六回です。礼記射義から始まり、射詰・射

込競技の十二射は坐射で行われます。高齢者になっても基本を大切に、心・技・体の向上を目指し、研修に努めています。

ねりんピック県代表には、八名中二・三名は毎年出場しています。大子での射会は一泊で研修と親睦を深め、県下随一の温泉で身を温め弓道談義に花を咲かせた射会も楽しいものです。現在三十五名の会員です。ご希望の方はぜひ入会して下さい。

地区だより

日立地区

日製日立支部 竹之内 正宏

日製日立支部は、日立製作所の発祥の地である日立工場の弓道部ではありますが、OBの先輩方や一般方々と一緒に活動を行っています。

日立工場に隣接している会瀬武道場内の弓道場を活動場所としております。会社の弓道場ではありませんが、会社関係者以外の一般の方の練習も可能です。また、定期的な弓道教室の開催は行っておりませんが、希望者があれば随時指導を行っております。（興味があ

りましたら、ご一報下さい。）

普段の練習は、平日の昼間に練習を行っているOB組と、平日の夜、または週末に練習を行っている現役組に分かれています。

OB組は、各自それぞれの目標に向かって自分のペースで練習をされており、常に向上心を持って練習される姿は、現役組の目標とするところです。

一方、自分を含めた現役組は、週末のみになつてしまいがちですが、何とか練習時間を作ろうとしており、全日本勤労者弓道選手権大会での優勝を目標に、試行錯誤を重ねています。

ここ数年、高校や大学での経験者を中心に新人の入部が続いており、若返りが急速に進んでいます。これにより、若者のみによる月例会を開催するなど、活動が活性化されております。この状況を維持し、支部のレベルアップを図っていききたいと思っています。

約10年前までは、県内の日立製作所には、水戸工場や多賀工場、国分工場にも弓道部がありました。が、バブル崩壊の後で、日立工場を除く各弓道部が廃部となり、唯一残ったのが、日立工場弓道部であり、日製日立支部です。

昨今の厳しい会社状況ではありますが、何とか弓道部を存続し、

後輩たちが弓を引き続けられるような環境を残していきたいと考えております。

日立製作所は、二〇一〇年で創業一〇〇年となります。

次の一〇〇年も日製日立支部が存続し、活躍できますように！

水戸地区

殿山弓道会支部 萩沼 信子

水戸地区は、茨城県庁、茨城高専、茨城町内原、大洗町、笠間市、水戸桜川、殿山弓道支部、ひたちなか市勝田、ひたちなか市湊、みと葵、水戸市、教育庁等 十四の支部から成り立っております。

次に、水戸地区の主な大会をご紹介します。

四月に行われます村松山弓道大会(会長 木村喜久雄先生)は、今年で三十七回を迎えました。小学生、中学生、高校生・一般の部の三部により行われます。何といっても、小学生、中学生が参加できる大会で、他にない大会といえます。そして、的中により、敢闘賞、殊勲賞、皆中賞があります。他に、余興的として板割りが行われました。今後も、多くの弓道愛好家の方々の参加をお願いしたいのとさせていただきます。

次に、六月に行われます、かつ

お祭り大会ですが、これはまだ那珂湊支部として活動していた頃からの行事で、矢吹先生が始められたもので、先生のかつおの絵は定評がありました。何といっても、賞品の生カツオ一本に魅力があり、多くの方々が参加されてきました。現在、勝田と那珂湊は合併され、ひたちなか市となりましたが、大会はそのまま引き継がれ、現在に至っております。

賞品のカツオは、漁の良し悪しに左右されますので、開催される方々のご苦勞に感謝です。

毎年、年度末の三月に行われますのは、水戸市の観梅弓道大会です。

広く県外からも多くの参加者があり、今年度は学生が四百三十二人、一般百五十八人になりました。長い間続けられてきた観梅大会です。これからはますます盛んに続けられますことを期待したいと思います。

他に、笠間市の菊祭り大会(天牙子先生)があります。

県主催大会以外に、このように各支部の大会があり、参加されますとまた違った楽しみがあると思います。弓友を深めるためにも良いかと思えます。特に若い人達や低段の方々には、楽しいと思われていただくことも大切かと思われ

ますし、県武道館や自分たちの練習場でなく、他の道場に行かれるのも勉強になります。

以上、水戸地区で開催されている大会について述べてみました。来年度も皆々様がますますご活躍されますことをお祈り申し上げます。

石岡地区

石岡弓道会の歩み

須田 勝

石岡弓道会は昭和三十八年、故岡崎儀實範士のもと、発足いたしました。芹澤会長のもとで私も新人が毎年増え、県営スポーツセンター弓道場へは無段の頃から出場させていただきました。当時弓は百矢場踏めとよく言われ、各地で行われる大会にも会員皆で楽しく参加させていただきました。

石岡弓道会は年間行事として毎月例会、三十射会、また五月に岡崎杯、八月に芹澤杯、遠的大会等を計画し、実施しております。

今年が二十八回になります弓道教室も毎年行っております。一回目が、故武藤教士が主任講師で昼間二十名の指導を行いました。二回目以後私が主任講師で昨年度、夜行いました。今年度は再度、昼間にして石崎講師のもと三名の

受講で行いました。

おかげさまで、教室入会者が現在まで弓道を続けていただき、会員も大幅に増え、年齢も八十四歳から二十歳と多士済々、また、無段から教士七段まで頼もしい会員が増えております。

石岡市主催によります武道大会が十二月に行われます。石岡市内の三つの支部、三つの高校の生徒、一般の方に参加をいただき、今年度第九回の大会を実施することができました。

芹澤体育協会長のもとで市の体育館で柔道と剣道の大会を、また石岡商業高校の弓道場をお借りして弓道の大会を開催しております。毎年楽しみな大会であります。また、この大会においては石岡商業高校の先生をはじめ生徒の皆さんの多大なご協力を得、大会が盛大に行われる事、心から感謝しております。ありがとうございます。

会員が毎日のように稽古されて、その努力の結果が大会に出て、入賞したり、審査を受け昇段、昇格するので、今後のご精進とご活躍を祈念いたします。

鹿行地区

鹿嶋支部長 小堀 富男

鹿行地区は県東部に位置し、東は太平洋、西は霞ヶ浦・北浦を配し、水に恵まれた水郷地帯であり、また武道の神様で知られる「武甕槌大神(たけみかづちのおみかみ)」が鎮座しておられる鹿島神宮を中心に発展し、現在は鹿島臨海工業地帯として、古いものと新しいものが融合して発展を続けています。鹿行地区には鉾田支部、鹿嶋支部、神栖支部、波崎支部、三菱化学支部、玉造支部、麻生支部、潮来支部の八支部があり、独自の活動を行っています。

では、各支部の紹介と、主な活動状況について紹介します。

最初に鹿嶋支部は、部員数十七名(称号者三名、有段者十四名)のこじんまりとした、和気あいあいの支部です。稽古日は毎火、木、土曜日の週三回です。部員確保のために、弓道教室を隔年に開催していますが、なかなか部員の定着には結びつきません。部員定着のための方策が現在の課題です。恒例の行事としては、私達鹿嶋支部が応援しています。鹿島神宮弓道大会があります。鹿島神宮弓道大会は毎年四月二十九日に行われ、今年で第七十六回目を迎えます。県内外から大勢の弓人が集う、歴史と伝統のある大会です。新緑の四月に荘厳な鹿島神宮の社の中で、

同じく弓を引いたであろう古人（いにしえびと）と心を合わせて弓を引く感動は言葉では言い尽くせません。ぜひ一度お出かけください。

次に神栖支部について紹介します。部員数が五十二名（称号者八名、有段者四十四名）の支部です。稽古日は部員数が多いため、昼の部と夜の部に分け、毎週昼の部は日、火、木、土曜日に実施しています。夜の部は毎週火、木曜日に実施しています。活動状況は主に毎年五月に行われています。春季大会と、十月に実施しています。秋季大会があります。特に春季大会は今年で三十回目を迎えます。また、国体選手を多く輩出する強豪支部でもあります。川瀬先生を中心に活発な活動を展開しています。

次に波崎支部について紹介します。部員数が十名（称号者一名、有段者九名）の支部です。念願の新しい弓道場が平成二十年三月に完成しました。稽古は週一回行っています。大会及び弓道教室は現在休止しておりますが、将来は教室を再開する予定です。また波崎支部は神栖市弓道連盟にも加盟しており、共存共栄を図っています。次に玉造支部について紹介します。部員数が十四名（称号者二名、

有段者十二名）の支部です。活動状況については、夏期練成大会、公民館まつり、射初会などを行っています。

次に麻生支部について紹介します。部員数が十三名（称号者一名、有段者十二名）の支部です。活動状況については、五月に行方市麻生杯弓道大会、十一月に行方市麻生産業文化祭弓道大会を行っております。両大会とも二百名を超える参加者があり、各々の巧みな所作には必見の感があります。ぜひお出かけください。

最後に潮来支部について紹介します。部員数が十八名（称号者一名、有段者十二名）の支部です。稽古は毎週火曜日、木曜日の夜と土曜日の午前中に行っています。大会等は毎年六月に行っております。あやめ祭弓道大会があります。今年で五十八回目を迎える伝統ある大会です。あでやかな潮来のあやめも満開の折、ぜひ一度お出かけください。以上、鹿行地区の各支部の活動状況について紹介しました。

土浦地区

かすみがうら市体育協会

弓道部の紹介と活動状況について

霞ヶ浦支部長 廣原 洋介

平成十四年度に弓道場の建設完成に伴い、新たな弓道部活動が盛んになってきました。弓道場は多目的運動広場内にあり、周りには森と芝に覆われ環境的には素晴らしい所でございます。

部員一同、本格的な練習も充実している中、弓道教室を通して部員の数も少しずつ増え始めて、控え室がないため道場が狭くなり、やむを得ず市に控え室二間×五間を増設要望して、平成二十年度に控え室の増築完成を迎えました。五人立ちで間口五間、奥行き六間で入退場の出来る施設が出来ました。

増築祝射会を開き、市長、教育長、スポーツ振興課KSC（エンジョイスポーツ）の方々を招待して、全員で一手行射を披露しました。市長、教育長も弓道という武道の素晴らしさに感動した様子でした。「礼に始まり、礼に終わる」「至誠、礼節」弓道の精神を感じられたようでした。

その後、控え室で懇談の中、弓道の理念である、「射法・射技の研究」「礼に即した体配の修練」「射品・射格の向上」「人間完成の必要」などをお話しました。

最後に教育長から、「これから弓道部の活躍を期待しています」とのお言葉をいただき、全員

が新たな気持ちで意欲が湧きました。市も青少年育成と地域のスポーツ活動の成果に力を入れてくれたのです。これからも期待に沿えるように弓道部一同頑張っていく所存でございます。

今まで年に一度だった弓道教室を、毎月、市の広報に載せて、いつでも初心者の方が弓道を体験できるようにしています。

現在、霞ヶ浦支部の県登録会員は二十一名です。今後、初心者の方の育成と経験者の掘り起こしに力を入れ、弓道人口の拡大に努めていきたいと思っています。

活動状況について

練習日は休館日（月曜日）以外、毎日午後一時から六時頃まで練習できる条件に恵まれています。練習は全員が一手坐射、審査の間合いで行い、あとの一手は競技の間合いで必ず行う練習をしています。その後、射法・射技・体配の練習を行います。また、大会や審査、講習会にも積極的に参加していくようにしています。

年間大会は、一月は初射会、二月、三月、四月は月例会、五月は鹿島神宮奉納射会（平三坊）、六月、七月、八月は月例会、九月はかすみがうら市長杯弓道大会、十月はふれあい体験と武道弓道大

会、十一月は月例会、十二月は納射会（五十射会）です。

かすみがうら市弓道場完成を機会に、平成二十年度第一回市長杯弓道大会を土浦地区の六支部の参加を得て開催しました。賞品はかすみがうら市の名産、農産物にしました。とても好評で参加者の方々からも大変喜んでいただき、本当にうれしく思っています。また、各支部の皆様には競技運営にもご協力いただき感謝しております。

今大会、矢渡しは八十二歳の嶋田勝雄五段が射手を務めました。これを機会に、土浦地区の各支部の皆様と、また、大会以外でも合同練習を兼ねてやっていければ幸いです。

最後に私事ではありますが、私が土浦地区委員長として二期四年間重責を任せられ、やってこれたのも地区の皆様のご指導、ご協力があったからです。行き届かない点が多々あったと思いますが、これまで同様ご指導、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

県西地区

下館支部 生井 栄作

下館支部は登録会員44名、県内で5番目に大きい支部です。母体

となる「下館真射会」は、高校生数名、仕事柄休日も夜間のみの活動の方々など、県連に登録していない会員も合わせて、総勢75名の大所帯です。

真射会の年間活動は、弓道教室、支部内講習会（3回）をはじめ、市内の高校弓道部員も参加する体育協会主催行事（4回）、腕自満が集う50射・100射会、若葉の季節には射会後のバーベキューの集い、十五夜の名月を愛でながらの射会とその後懇親会、年末には道場の大掃除をして納射会と忘年会、正月2日の射初め射会等々盛り沢山です。

<http://shishakai.cocolog-nifty.com/> も参照下さい

中でも初心者を対象とした弓道教室は、全員参加の一大事業です。約2ヶ月間全30回、教程表に沿って、各自の都合に合わせて、有段者全員で講師を分担します。主任1、補助3名を持ち回り、「教えるために自分も勉強」も目的の一つとしています。もちろん間違った教えは称号者が目を光らせています。この弓道教室は昭和50年代の会員減少時期に、回生手段として企画され、途絶えること無く続いて、今年で29回目を迎えます。現会員の8割強がこの教室卒業生で、正に「継続は力なり」の賜物

です。

平成20年度の活動成果では、嬉しいことが二つありました。

一つ目は、3回ある県内大会団体競技の全てで入賞し、うち2回で優勝を飾ったことです。春季大会で5位入賞、ねりんピック記念大会と、精鋭集う支部対抗戦で見事に優勝、近年に無い成果を上げることができました。

二つ目は、教室育ちが一度に3名も錬士に昇格したことです。私もその一人ですが、初心から始めた者ばかりで、長く指導に当たられた庄司先生、北島先生には大変ご苦労をおかけしました。紙面を借りて御礼申し上げます。

最後に歴史？と由緒？ある我が活動拠点を紹介して、皆様の来場をお待ちしたいと思います。写真は隣接する筑西市役所本庁舎（ナビ検索はTEL0296-24-2111）の交差点から仰いだ、県西地区で唯一公営の下館弓道場です。古い3階建てビル（下館武道館）の屋上がそれで、広さは約35×20m、5人立射場に15坪程の控室が付いています。屋上は全てが弓道専用空間で、出入口の鍵以外の管理は、全て真射会に委ねられています。週1の休館日を除き8時から21時まで、いつでも無料で鍵を借り出せる、すこぶる利便性の良い環境です。



この弓道場は、昭和8年に結成された由緒ある真射会の、2つめの道場です。最初の道場が解体されることになったとき、先輩達が数年の歳月をかけた署名・陳情の末に勝ち取った様子が、道場に残る古い資料に記されています。いつまでも残したい道場ですが、いつ取壊しの話が出て可笑しく無い姿を仰ぐ度に、我々にも後輩に残せる新道場を勝ち取るだろうか、という想いが重く押し掛かってくるこの頃です。今は、より多くの利用者を確保し、その利用状況を記録に残すことが第一と考えられています。筑西市方面にご用の折は、弓矢を携えてお立ち寄り頂き、利用者帳へのサインをお願い致します。

県南地区

牛久市弓道会の歩み

安藤 延典

牛久市弓道会は、故石川一三先生（初代会長）が、牛久市に弓道の出来る場所、又、弓道人口の発掘を目的に、平成元年四月より、牛久市支部として活動をはじめました。発足当初は、県連登録者六名と少人数での活動で、練習場所は、牛久市運動広場駐車場の斜面に的を掛けての野立ちでの練習が主で、又、近在の道場（土浦・取手・藤代・東洋大牛久高・牛久高）をお借りしての練習など、今思うと楽しい思い出です。

このような活動実績をふまえ、平成二年四月牛久市体育協会に入会し、牛久市に弓道場建設の陳情書を毎年提出し、平成七年四月、待ちに待った市営道場が完成いたしました。落成記念射会を境に、会の活動の充実を図る為、会員の技術力向上、県大会等積極的に参加し、牛久カップ祭り弓道大会、遠的練習会、初心者弓道教室等を実施し、実績を積み重ね底辺の拡充を図ってまいりました。

又、県南地区弓道の全般的な底上げ、弓道人の親睦・底辺拡大を目的に、平成3年各支部地区委員

が集まり県南地区連盟として毎月一回勉強会を開き、射法・射技・体配を目的に研修会を現在も行っています。又各支部で行われておりました大会を一つにまとめ平成6年第一回県南弓道大会として発足し、毎年実施されております。20年度第15回大会では一般・学生の多数の参加のご協力有難うございます。今後共宜しくお願いいたします。

さて、牛久市支部の現在の活動状況ですが、1、週4回の定期練習2、月例射会3、初心者弓道教室（隔年6回実施）4、牛久市スポーツチャンピオンフェスティバル（遠・近的大会）一般／高校牛久市内対象（5回実施）5、百射会（4回実施）6、合宿研修会（5回実施）7、講習会等、活動を行ってまいりました結果、県連登録者30名と、発足当初に比べ会員数も増え喜ばしいことです。皆様方のお陰と感謝いたしております。このような中、早いもので支部結成21年を迎えました。節目としてH19年5月支部結成20周年記念射会を実施いたしました。発足当初の大変な思いをしながら練習した過去の思い出を知る人は少なくなりましたが、一日、楽しく和気あいあいと無事射会が終了いたしました。今年の初射会のお祝いの（5

寸) 7個の内3個を昨年初段合格した女子会員が的を射抜くという快挙に、後進の頼もしさを感じ、年輪ビック選手も18年から4年連続、代表に選出され、会員一同大変喜んでいきます。道場が出来て15年、これからも弓道人口の拡大に努め、後輩の育成に努力していきたいと思ひます。ご協力を宜しくお願いいたします。

専門部だより

総務企画委員会

天 冨子

二、三年前から題名のような会ができ、年一、二回会議を開きました。何がどうなるのかさっぱりわかりませんでした。

平成二十二年に、県会長より「委員長になり、皆を動かし、まとめてもらいたい」と言われましたが、お先真つ暗で戸惑っていました。そうこうしているうちに、六月を迎えてしまいましたので、会長の期待に沿えるのだろうか、と不安で一杯でした。

平成二十年六月四日、笠間陶芸美術館の会議室を借り、集まるメンバーは、木村副会長、明間副会

長、張替教士七段、市毛教士七段、白石教士七段、宮崎教士七段、山村教士七段、赤津教士七段、天と九名、張替先生は学校の都合で欠席となりましたが、心配していたことも、集まった先生方からの援助をいただき、着々と進みました。

内容は、

- 一、大会の見直し
- 二、審査会について
- 三、講習会について
- 四、国体選手選考について
- 五、その他には、

①有段者選手、称号者選手選考について

②新春大会の内容について

③中高体連について

朝九時半から十二時まででは時間が足りず、午後一時までかかって、やっとまとめました。さらに一回の内容の見直しを、十一月十一日に前回と同じ場所を借りて初めから見直しをし、理事長に提出しました。(内容は、理事会で発表されるので省略します)

来年からの県連の運営に役立つことができるよう願っています。そうなるこそ総務企画委員会を設立して、会議を行ったことが立派に役立っていくことでしょう。

また、会員の皆様で、茨弓連についてお気づきの点がありましたら、お教えいただくことを待っております。

指導部

部長 助川 末廣



平成二十年度より指導部長という大役を任せられました。

だが、会員の皆様のご協力により一年間無事に任を果たすことができました事を感謝申し上げます。

これからの一人一人が昇段昇格にチャレンジするために、指導部としても講習会の充実を努力をしていく所存であります。

講習会の目標は、教本に示された体配、射法射技の徹底した履修にあると思ひます。

県内審査、錬士審査、中央審査の合格向上をめざしてこれからも講習会に参加をしていただきたいと思ひます。

今年度は、

- ①三、四段に於いては射型、射術の確立はもちろんのこと、体配の無駄をなくし、呼吸からの体配(射品、射格は呼吸から)を習得。
- ②五段に於いては、錬士取得に向けて持的・射礼の体配射技の確立。

③称号者の部は持的、一つの射礼、矢渡し、回転動作等の講習会を主とする。

人は不思議なパワーを持っていると言われます。そのパワーを発揮するには自分自身を信じ自信を持つことにあると思ひます。(ブルス思考) 弓道の最高目標は真・善・美、および中・貫・久にあると言ひます。

目標に向かって切磋琢磨し、厳しさの中に楽しい弓道となるよう、部員一同頑張りますのでご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

ちなみに前年度は錬士十四名、六段八名、教士一名、七段二名がそれぞれ昇段・昇格いたしました。心よりお祝ひ申し上げます。そして更なる精進と活躍をお祈りいたします。

最後になりましたが、講師の先生方の真剣なご指導と会員の真面目な受講と努力に感謝申し上げます。

審査部

部長 山村 晋

審査事務局二期四年を務め、この度平成20年4月より茨城県弓道連盟審査部長の重職を仰せつかり



無事一年を務めることが出来ました。20年度は中央審査

申込期限の延期、県内審査規則一部改正などと会員の皆様にはご不便をおかけした面もあったと思ひますが、審査部一同力を合わせ無事乗り切ることが出来たのは会員の皆様、審査委員の先生と役員のご協力があったお陰と感謝しております。紙面をお借りし御礼申し上げます。

さて、20年度県内審査会はどうであったか、中高審査四回、一般審査三回、連合審査一回と年9回の審査会を行いました。

19年度と比較すると全体の受審者数が約100名以上の減少です。この3年間を見てみますと、一般では無指定と初段の受審者が年々少なくなり、代わりに3段、4段の受審者の方々が多数を占めているということなのです。

各支部に初心者が増えていない現象があり、「弓道人の底辺の拡大に努めるように」と毎年県連会長が言われています。初心者教室等を通じて初心者の育成をお願いしたいところです。

また、中・高生審査を受審する学生の交通の利便性を考慮して、一度試行的に水戸武道館と土浦市

武道館の二会場を使用して実施したところ大変好評でした。

中・高生の審査を円滑に運営するために、21年度は本格的に、年二回、土浦、水戸、東海、取手の各道場を借用し実施いたします。一般の審査も同様に四会場の道場を使用することにしましたので、ご協力をお願いします。

20年度総務企画委員会が二回行われました。代表理事 天 冨子の指導の下、茨城県弓道連盟全般について審議されます。審査部も良い改善案については、取り入れたと思いますので、会員皆様のご協力をお願いします。

■審査部からお願い

1 申し込み締切り期限
①中央審査(定期・臨時)(称号及び六段以上) 75日前まで (必着)

弓道連盟会長 柴田 猛宅へ

②県内審査(県内一般・県内中高・県内連合五段まで) 20日前まで

県外審査(初段～五段連合) 45

日前まで必着

審査事務局 大峰 芳樹宅へ

②同期日までに審査料も茨弓連審査部口座へ振り込むこと。

③弓道 級・段位審査申込書は必ず記入すること。

※支部長が取りまとめて提出すること。

競技部

部長 稲葉 健次郎



平成二十年度に計画をした十一件の県連主催競技大会が予定通り多くの弓友の参加を得て終了することができました。紙面をお借りして改めて各位

に御礼申し上げます。

各大会の開催にあたっては全日本あるいは関東地域弓道連盟などの大会をいつでも主管できるような、茨弓連全体の競技運営能力を向上させるため、全面的に各地区にて競技運営をしていただきまし

た。地区委員長を競技運営責任者として、各地区から選出された会員の方々のご活躍により全ての大会が円滑に、かつ効率的に済々と実施され、誠に喜ばしいことです。

より初めての係を担当される会員の方でも、何をすればよいのかを確認できたのではないでしょう。係を担当しつつ大会に参加される方に対しては立順を可能な限り分散し、業務に支障の無いよう競技役員の立順表を作成し配慮いたしました。また、あくまでも目安ではありますが、各支部配布のプログラムには何時何分ごろ立番となるかの大会時間配分表を添付し、選手の控えのタイミングの参考となるようにいたしました。これにより召集が円滑になされたように思います。今後とも競技運営要領につきましては、体験をして得た反省事項を取り入れてより良いものにしていく所存ですので、担当して感じた不具合事項等改善意見を忌憚なく、ぜひ競技部までお寄せ下さい。

大会の表彰につきましては、選手権(称号)に女子の部を追加し、選手権(有段者)、県民総体、中野杯の表彰枠を倍増し各部門十位までとしました。褒章についても従来のカップのみでなく変化をつけ、特に団体競技の賞品については支部の皆さんで共に入賞を喜べるものにしていきたいと思っています。

二十年度は「ねんりんピック記念大会」の実施及び新年射会の要

領改訂により、参加選手数が三百三十名程増加いたしました。今年度からは、ねんりんピック記念大会は「夏季練成大会」と名称を変更して五人一チームの団体戦として継続実施する予定です。新年射会は正月明けの寒冷の折にもかかわらず、昨年度より百名も多い二百七十名の方が参加して開催されました。前年の六段以上の昇段者(十名・錬士以上への昇格者(十五名)のうちの十九名による模範

演武がなされました。また喜寿以上卒寿をお元気で迎えられた太田竹弓会の高岡様(九十一歳)をはじめとする多くの大先輩弓友の方々のご参列を頂き、喜寿以上の五名、傘寿以上の十一名の方の祝年者による祝賀演武も拝見させていただきましたことができました。弓道が如何に長い人生を通して親しめ、中学生からの若い人達とともに対等に、修練できる武道であるかを実感した次第です。

競技部としても更なる向上を目指しますので、今年度も各大会に多くの会員の参加を心から歓迎するとともに、大会運営にあたっては各地区の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

強化部

強化部長 関島 勝



強化部に籍をおいて五年が経過しました。

幸い、良いスタッフに恵まれ選手強化活動に傾注でき充実した歳月でありました。

強化部の目標は、国体選手の競技力向上はもとより県外大会への派遣する代表選手の上位入賞を目指すことを目標として強化活動しておりますが、二十年度も十一月から三月の間、強化部および各支部より将来有望視される選手の推薦を受け、強化を行ってまいりました。

例年、この時期は遠的競技力向上を主点として実施しております。一方、近的においては、各支部にて自主練習あるいは、指導者のもとで練習を行っておりますので、本強化においては、基礎体力づくりとの中内容等をまとめ、競い合う精神力の強さを育てております。

従って、今後も遠的を重点とし技術力の向上、矢所の集中等の練習会と考えております。

昨年の大分国体では、弓道種目

少年男子・女子の二種目で国体に出場し総合優勝は見事なものでありました。これは、茨城県弓道界では史上初めての快挙であります。

昭和五十七年島根国体弓道種目総合優勝以来、二十六年ぶりの国体総合優勝であり、「ブロンズ像」が茨城の地に戻ったことになりました。まさに感銘あるのみです。

少年男・女の選手の弓道暦は短く、二年ないし一年半くらいの経験であり、あのような誇れる技術力の高さはどのように培ったのであるのかと考えさせられます。

おそらく監督さんを信じ、仲間と協調し、一人ひとりが弓道への意欲を持ち続け、一矢一矢に工夫を怠らない日々の稽古の成果であつたのでしょう。

少年男子近的優勝・遠的五位、少年女子は十九年度の秋田国体では、遠的八位、二十年度は近的準優勝と二年続けての上位入賞は見事であり、改めて国体総合優勝成果に心からお祝いと敬意を表します。

成年の部においては、関東ブロック予選会で成年男子・女子ともに落選となり、強化部の責任であることに深く反省をしているところであります。

前年までは、成年男子はプロッ

ク予選なしでストレートで国体出場ができました。しかし、二十年度より関東ブロック予選会が実施されることになり、関東ブロックの一都七県の五位までが国体出場となつたため、残念ながら五位以内に入賞できずでありました。弓道競技の奥の深さを実感した次第であります。

結びに、会長 柴田先生には、例年のごとく関東ブロック、国体本大会出場時には必ず行き先での練習会場の確保にご尽力いただき、また、公開練習後も夜遅くまでご指導を下さるなど、その熱意あるご指導に対し感謝しながらも期待に応えることができず、誠に申し訳なく思う次第であります。二十一年度は、前回の教訓を糧とし、関東ブロック「千葉予選会」を通過し、四種別国体新潟大会へ進出と、本大会における上位入賞を目標とし努力する所存であります。

(付記一) 昨年の全日本遠的選手権大会で、小島幸子選手(水戸支部)が第四位に入賞。

(付記二) 新潟県合同練習会の実施
・二十年十二月十三日(土)、十四日(日) 新潟県弓道連盟(強化部)より遠征の申し込みがあり、茨城県弓道連盟強化部との合同練習会を実施。

新潟県弓道連盟役員 四名、選

手男子 九名、女子 九名 計二十二名
茨城県弓道連盟役員 二名、強化部 二名、選手 男・女 延べ三十一名
茨城県選手団も良き刺激をいただき意義ある合同練習会であつたことを報告します。

会議報告

県外

関東地域弓道連盟連合会会議
(4/8、10/21 柴田)
全日本弓道連盟評議員会
(5/30、H21/3/8 久保田、北島)
全国地連会長会議
(10/30 柴田)

県内

専門部長会議 (H21/1/11)
理事会 (H21/3/1)
代議員会 (H21/3/22)

研修事業報告

県外

関東北部指導者講習会
(水戸 5/10、11)
安藤延典、川瀬政人、
助川末廣、塚田哲也、
吉田 智
関東女子講習会

(中央 6/21、22)
柴原一利子、高橋輝子、
萩野谷綾子、根本鈴子、
柴田隆子
地連幹部指導者講習会
(横浜 7/5、6)
明間 勲、白石直之、
山村 晋
中央講習会
(中央 10/10、12)
張替謙一

指導力向上指導者講習会
(中央 H21/2/7、8)
中井川 一郎
講師・審査員研修会
(中央 H21/3/6、8)
三・四段講習会
(武道館 5/17 55名)
(武道館 6/29 71名)
五段講習会
(武道館 6/14 61名)
(武道館 9/20 34名)
称号者講習会
(存心館 6/22 47名)
(存心館 10/26 36名)
支部指導者講習会
(武道館 7/21 43名)
教職員指導者講習会
(武道館 8/31 30名)
スポーツ振興講習会

県内

講師・審査員講習会
(武道館 4/5)

県外大会 一般

(武道館 9/27)
中体連審判講習会
(武道館 10/18 80名)
高体連審判講習会
(武道館 7/19 83名)

第59回全日本弓道大会
(京都 5/2、3)

・錬士の部 5位 高野敬光
第55回全日本勤労者弓道大会
(新潟市 6/6、8)

第46回関東教職員弓道大会
(山梨 7/6)

・男子団体の部 3位 茨城B
・男子個人の部 4位 星 浩一
第59回全日本選手権関東地域代表
選手選考会
(宇都宮市 7/27)

・天皇杯 張替謙一(進出)、
山村 晋、石井 誠、塚田哲也
・皇后杯 柴原一利子(進出)、
萩野谷綾子(進出)、林田幸子、
安藤明子
第39回全日本教職員弓道大会
(都城市 8/8、9)

・男子個人の部 4位 染谷 学
第63回国民体育大会関東ブロック大会
(甲府市 8/23、24)
第49回関東地域弓道選拔選手権大会
(水戸市 9/14)
・称号者の部 3位 山崎芳美

第59回全日本男子弓道選手権
(天皇杯)

(中央 9/19~21)

・4位 張替謙一

第41回全日本女子弓道選手権
(皇后杯)

(中央 9/21~23)

第59回全日本遠的選手権
(中央 10/24~26)

・男子の部 予選進出

川瀬政人、飯泉 清

・女子の部 決勝進出 黒澤智子、
予選進出 石井和子

全国年輪ビック弓道大会
(鹿児島市 10/25~28)

第9回全日本遠的弓道選手権大会
(中央 H21/1/10)

・成人男子の部 決勝進出
門井 寿通

・一般女子の部 4位 小島幸子

県外大会 高体連

第26回全国高等学校弓道選抜大会
(中央 3/28~30)

・男子団体の部 二位、
技能優秀校 石岡商業

第51回関東高等学校弓道大会
(宇都宮市 5/30~6/1)

・男子団体の部 優勝 石岡商業
・男子個人の部 8位 井上雄貴
(石岡商業)

第53回全国高等学校弓道大会

(川越市 7/28~31)

・男子団体の部 優勝、
技能優秀校 石岡商業

第63回国民体育大会関東地区予選大会
(甲府市 8/23~24)

・少年男子の部
総合1位 国体出場権獲得

・少年女子の部
総合3位 国体出場権獲得

第27回関東個人選手権選抜大会
(中央 9/6~7)

・男子の部 6位 山口祐一
(藤代高校)

第63回国民体育大会
(大分 10/4~7)

弓道競技総合優勝

・男子近的の部 優勝、
遠的の部 5位

・女子近的の部 2位

第27回全国高等学校弓道選抜大会
(藤枝市 H21/3/20~22)

全日本少年武道(弓道)錬成大会
(日本武道館 7/21)

第19回関東中学生弓道大会
(栃木 8/10)

第5回全国中学生弓道大会
(中央 8/16~17)

・女子団体の部
3位 稲田中学

・女子個人の部

5位 平山恵理(稲田中学)

茨城県弓道連盟主催(主管)県内大会

春季大会

2008・4・27

団体

優勝 三菱化学
準優勝 龍ヶ崎D
3位 霞ヶ浦

男子の部

優勝 鈴木慎也
準優勝 大崎真一
3位 田口敏朗

女子の部

優勝 野田未紀
準優勝 小松崎和江
3位 黒澤智子

称号者

優勝 郡司武満
準優勝 小沼勝則
3位 山村 晋

優秀賞(団体)

竜ヶ崎D(第1射場)
三菱化学(第2射場)

優秀賞(個人)

吉田忠晃(第1射場)
石田昌嗣(第2射場)

選手権称号

2008・5・25
男子の部
優勝 張替謙一
準優勝 山崎芳美

3位 高木 勉

女子の部

優勝 石井和子
準優勝 萩野谷綾子
3位 安藤明子

最高得点

男子 山村 晋(石岡)
女子 柴原一利子
(水戸桜川)

選手権一般

三段以下

優勝 豊崎大輝
準優勝 荒井康雄
3位 高居 晃

四・五段

優勝 黒澤智子
準優勝 石田昌嗣
3位 奥山郁夫

最高得点

初段以下 石川直人
三段の部 豊崎大輝
四段の部 酒井有香
五段の部 奥山郁夫
野田大介

県民総体

2008・6・15
男三段以下
優勝 石井俊之
準優勝 熊谷俊秀
3位 高橋遼介

男三段以下

優勝 石井俊之
準優勝 熊谷俊秀
3位 高橋遼介

男四段以上

優勝 石田昌嗣

準優勝 松崎稔昌
3位 黒杭正吉

女三段以下

優勝 大高 綾
準優勝 水野希美
3位 渋谷淳子

女四段以上

優勝 黒澤智子
準優勝 西野文子
3位 鬼木泰江

称号受有者

優勝 石井 誠
準優勝 池田秀臣
3位 小室セイ子

遠的大会

男四段以下

優勝 尾吹将大
準優勝 藤崎岳人
3位 木名瀬健

男五段以上

優勝 川瀬政人
準優勝 飯泉 清
3位 関島 勝

女四段以下

優勝 佐藤瀬里奈
準優勝 飯田純子
3位 大高 綾

女五段以上

優勝 石井和子
準優勝 黒澤智子
3位 萩野谷綾子

青年大会 ねりんぴつく記念

2008・8・24

優勝

水戸市

準優勝 竜ヶ崎市

3位 神栖市

ねりんぴつく記念

優勝 下館A

準優勝 水戸桜川B

3位 土浦亀城A、三菱化学

中野杯

2008・9・21

男子の部

優勝 辻 尚宏

準優勝 稲見真人

3位 中村丈夫

女子の部

優勝 財津昌子

準優勝 小松崎和江

3位 根本孝子

称号受有者

優勝 小松正幸

準優勝 石井 誠

3位 池田秀臣

フェスティバル

2008・11・16

男子の部

優勝 木村 淳

準優勝 近藤広渉

3位 吉田英樹

女子の部

優勝 小林由佳

準優勝 谷津怜子

3位 鈴木千里

2008・10・19

二段以下

優勝 畠山友史

準優勝 本田 敦

3位 江口昭裕

三段の部

優勝 川端達夫

準優勝 松田裕子

3位 福井光仁

四段の部

優勝 石田昌嗣

準優勝 矢野大輔

3位 渡辺 博

五段の部

優勝 清水正己

準優勝 崎岡明子

3位 越川春江

称号受有者

優勝 白石直之

準優勝 小沼勝則

3位 平戸信行

支部対抗

2008・11・30

優勝

下館A

準優勝 飯泉、浜野、生井

3位 石岡市A

岡野、中村、吉田

神栖市A

石田、黒杭、川瀬

勝田A

清水、渡邊、中井川

新春射会

2009・1・11

三段以下の部

射詰優勝 高居 晃

男子

優勝 鈴木慎也

準優勝 明村範彦

3位 豊崎大輝

女子

優勝 上田有香

準優勝 川畑有紀子

3位 柴田幸子

四・五段の部

射詰優勝 鬼木泰江

男子

優勝 尾吹将大

準優勝 菊地俊和

3位 新山晃一

女子

優勝 財津昌子

準優勝 神原文子

3位 藤代知恵子

称号受有者の部

射詰優勝 柴田 猛

男子

優勝 根本信哉

準優勝 荻原裕一

3位 鈴木正太郎

女子

優勝 小泉公子

準優勝 尾崎芳子

3位 小島幸子

茨城県教職員弓道連盟県内大会

春季大会

2008・5・30

男子の部

優勝 後藤裕一

準優勝 松崎稔昌

3位 荻原裕一

女子の部

優勝 大金喜代子

準優勝 高野順子

3位 酒井有香

総合の部

優勝 後藤裕一

秋季大会

2008・11・29

男子の部

優勝 後藤裕一

準優勝 飯塚尚人

3位 荻原裕一

女子の部

優勝 大金喜代子

準優勝 大川都志子

3位 青柳とし子

総合の部

優勝 後藤裕一

高体連県内大会

春季大会 兼 関東大会県予選

2008・5・9 (女子)

2008・5・12 (男子)

男子団体

優勝 石岡商B

準優勝 石岡一A

3位 水海一A

女子団体

優勝 竜崎一A

準優勝 江戸総

3位 清真学B

男子個人

優勝 井上雄貴

準優勝 飯村勇起

3位 阿部大氣

女子個人

優勝 大屋 和

準優勝 池田真弓

3位 渡邊聡美

高校総体予選 県民総体予選 全国総体予選 国体茨城大会

2008・6・6、8

男子団体

優勝 石岡商業

準優勝 取手第一

3位 太田第一

女子団体

優勝 清真学

準優勝 鹿島

3位 藤代

男子個人

優勝 原田泰典

準優勝 山口祐一

3位 阿部大氣

女子個人

優勝 渡邊聡美

準優勝 中俣有希子

3 位 羽富有華			県個人選手権兼 関東個人選手権 県予選会		
2008・8・18 (男子)			2008・8・18 (男子)		
2008・8・20 (女子)			2008・8・20 (女子)		
男子総合			男子総合		
優勝 遠藤翔平			優勝 遠藤翔平		
準優勝 井上雄貴			準優勝 井上雄貴		
3 位 佐藤丈仁			3 位 佐藤丈仁		
女子総合			女子総合		
優勝 垣内愛菜			優勝 垣内愛菜		
準優勝 長埜彩未			準優勝 長埜彩未		
3 位 大屋 和			3 位 大屋 和		
男子1年			男子1年		
優勝 宮崎哲志			優勝 宮崎哲志		
準優勝 木村浩之			準優勝 木村浩之		
3 位 小沼 聡			3 位 小沼 聡		
女子1年			女子1年		
優勝 木村澄香			優勝 木村澄香		
準優勝 川崎 望			準優勝 川崎 望		
3 位 大原慶子			3 位 大原慶子		
中野優勝旗記念弓道大会			中野優勝旗記念弓道大会		
2008・9・21			2008・9・21		
男子団体			男子団体		
優勝 土浦二			優勝 土浦二		
準優勝 藤代			準優勝 藤代		
3 位 牛久栄進			3 位 牛久栄進		
女子団体			女子団体		
優勝 土浦二			優勝 土浦二		
準優勝 土浦三			準優勝 土浦三		
3 位 佐竹			3 位 佐竹		
男子個人			男子個人		
優勝 浅野貴憲			優勝 浅野貴憲		
準優勝 水戸二中			準優勝 水戸二中		
3 位 海老原佑			3 位 海老原佑		
準優勝 吉原秀樹			準優勝 吉原秀樹		
3 位 富田小百合			3 位 富田小百合		
準優勝 伊藤綾子			準優勝 伊藤綾子		
3 位 松浦美香			3 位 松浦美香		
新人大会兼全国選抜予選			新人大会兼全国選抜予選		
2008・11・21 (女子)			2008・11・21 (女子)		
2008・11・22 (男子)			2008・11・22 (男子)		
男子団体			男子団体		
優勝 石岡商B			優勝 石岡商B		
準優勝 清真学			準優勝 清真学		
3 位 取手一 土浦日大			3 位 取手一 土浦日大		
女子団体			女子団体		
優勝 藤代A			優勝 藤代A		
準優勝 土浦二B 清真学			準優勝 土浦二B 清真学		
3 位 日立二A 水戸一A			3 位 日立二A 水戸一A		
男子個人			男子個人		
優勝 助川洗基			優勝 助川洗基		
準優勝 石上遼太			準優勝 石上遼太		
3 位 坂巻 大			3 位 坂巻 大		
女子個人			女子個人		
優勝 飯岡睦月			優勝 飯岡睦月		
準優勝 大源菜都美			準優勝 大源菜都美		
3 位 富田小百合			3 位 富田小百合		
中体連県内大会			中体連県内大会		
2008・7・27			2008・7・27		
男子団体			男子団体		
優勝 東海中			優勝 東海中		
準優勝 水戸二中			準優勝 水戸二中		
3 位 城ノ内中			3 位 城ノ内中		
準優勝 稲田中			準優勝 稲田中		
3 位 清真学園中			3 位 清真学園中		
阿見中			阿見中		
男子個人			男子個人		
優勝 近藤(東海)			優勝 近藤(東海)		
準優勝 廣瀬(水戸二)			準優勝 廣瀬(水戸二)		
3 位 蛭田(東海南)			3 位 蛭田(東海南)		
女子個人			女子個人		
優勝 平山(稲田)			優勝 平山(稲田)		
準優勝 駒崎(清真)			準優勝 駒崎(清真)		
3 位 大久保(愛宕)			3 位 大久保(愛宕)		
中野優勝旗大会			中野優勝旗大会		
2008・8・2			2008・8・2		
男子団体			男子団体		
優勝 竹来中			優勝 竹来中		
準優勝 東海中			準優勝 東海中		
3 位 東海南中 城ノ内中			3 位 東海南中 城ノ内中		
女子団体			女子団体		
優勝 清真学園中			優勝 清真学園中		
準優勝 東海中			準優勝 東海中		
3 位 稲田中 千波中			3 位 稲田中 千波中		
男子個人			男子個人		
優勝 佐藤(土浦二)			優勝 佐藤(土浦二)		
準優勝 徳永(土浦二)			準優勝 徳永(土浦二)		
3 位 西川(東海)			3 位 西川(東海)		
女子個人			女子個人		
優勝 廣瀬(清真)			優勝 廣瀬(清真)		
準優勝 高見(東海)			準優勝 高見(東海)		
3 位 佐藤(稲田)			3 位 佐藤(稲田)		
県新人大会			県新人大会		
2008・10・31			2008・10・31		

平成20年度 中央(臨時)審査会 合格者

錬 士		
日 付	授与地	昇格者氏名
5/1	東 京	大貫 六郎
5/24	東 海	久本 宣子
7/13	仙 台	飯泉 順子
		五十嵐みどり
		田口 敏朗
10/11	群 馬	生井 栄作
		滝本 敏雄
11/9	東 京	鈴木政太郎
		中村 恵子
		檜山 正富
12/21	東 京	河合 徹
		来栖 茂
		小泉 公子
H21/2/15	東 京	越川 春江
		岡田耕一郎
		高橋 啓市

六 段		
日 付	認許地	昇段者氏名
7／12	仙 台	小島 幸子
		川俣 幸子
9／6	福 岡	唐沢 叔莊
10／12	群 馬	駒場 孝司
10／31	東 京	尾崎 芳子
		関島 勝
		高野 敬光
		丸 けい子

教 士		
日 付	授与地	昇格者氏名
12／21	東 京	郡司 武満

七 段		
日 付	認許地	昇段者氏名
7／12	仙 台	中井川一郎
11／2	東 京	萩沼 信子

男子団体		
優勝 城ノ内中	準優勝 土浦一中	3 位 東海中
女子団体		
優勝 稲田中	準優勝 東海中	3 位 清真学園中
男子個人		
優勝 折笠(城ノ内)	準優勝 杉浦(竹来)	3 位 佐藤(城ノ内)
女子個人		
優勝 雨谷(稲田)	準優勝 泉(江戸取)	3 位 安斎(東海)

平成20年度 連合審査会 合格者

日 付	会 場	県 連 昇 段 者
6/1	東 京	財津昌子
7/27	千 葉	宮田はるみ
10/5	水 戸	菊地正光、中村和子、染谷 学、柴山純子、林 文子 大友 実、福田英男、庄田喜八郎

平成20年度 審査合格表

		無 指 定	2 級	1 級	初 段	弐 段	参 段	四 段	五 段	計
4月20日 一般	受審者	24			3	10	19	12		44
	合格	3 級 0			3	10	8	4		25
		2 級 0								
		1 級 0								
	%	初段 24			100	100	42.1	33.3		36.8
4月29日 中高	受審者	154			172	69	13			254
	合格	3 級 26			146	69	2			371
		2 級 40								
		1 級 64								
	%	初段 24			84.9	100	15.4			90.9
7月20日 中高	受審者	112			128	62	29			219
	合格	3 級 59			122	45	4			283
		2 級 32								
		1 級 20								
	%	初段 1			95.3	72.6	13.8			85.5
9月7日 一般	受審者	21			1	16	33	26		76
	合格	3 級 0			0	16	12	7		56
		2 級 0								
		1 級 0								
	%	初段 21				100	36.4	26.9		57.8
9月15日 中高	受審者	64			27	21	1			49
	合格	3 級 2			27	11	0			102
		2 級 29								
		1 級 24								
	%	初段 9			100	52.4				90.3
10月5日 連合	受審者								124	124
	合格	3 級							12	12
		2 級								
		1 級								
	%	初段							9.7	9.7
10月3日 中高 無指定	受審者	305								305
	合格	3 級 44								305
		2 級 202								
		1 級 59								
	%	初段 0								100
11月24日 一般	受審者	17			0	29	48	43		120
	合格	3 級 0				29	48	14		78
		2 級 0								
		1 級 1								
	%	初段 16				100	100	32.6		56.9
12月7日 中高 2級以上	受審者	33			73	94	13			180
	合格	3 級 0			73	46	2			154
		2 級 22								
		1 級 11								
	%	初段 0			100	48.9	15.4			72.3
	受審者	730			404	301	156	81	124	1,796
	合格者	初段 95			371	226	46	25	12	1,410
	%	級位 635			41.1	75.1	29.5	30.9	9.7	78.5